



梅雨が明け息つく間もないこの暑さ、セミの声や盆踊りの音、子供たちの元気な遊声、花火の音などさまざまな夏の音色が耳に届く季節となりました。この時期ならではの自然を楽しみながら体調管理にも十分お気をつけください。さて、花だより8・9月号ではガムのお話や患者様から頂いたほっこり話のご紹介致します。

## ガムのお話

みなさんはガムを噛む習慣はありますか？今回は、ガムについてのいろいろな情報を皆様にお伝えしたいと思います。

### ●市販のガムと歯科医院専売のガムの違い

違いを皆さんご存知でしょうか？当院で販売しているガムも同じ商品名のものをスーパーなどで見かけると思います。その違いは配合されている成分にあります。市販のものの場合、虫歯菌の抑制に効果があると言われているキシリトール以外の糖分（虫歯の原因菌なりうるもの）が配合されています。だからと言ってまったくキシリトールなどの効果がなくなってしまいうわけではありません。より歯にいいものと考えたら歯科医院専売のものをオススメします。

### ●噛むことのメリット

- 唾液の分泌を促進  
たくさん噛むことによって唾液腺が刺激されます。
- 自浄作用  
唾液がたくさん出ることにより自浄作用の力が働き口腔内をきれいにします。
- 顎の発達を促進  
噛むことで顎の成長は促進されます。
- 脳を刺激  
歯と脳は神経で繋がっているので噛むことで脳は刺激を受けます。

### ●当院で販売しているガム

#### Pos-Ca F

- 噛むたびにカルシウムとフッ素を取り入れられるガム。
- 市販のものにはフッ素が含まれていません。



#### キシリトールガム

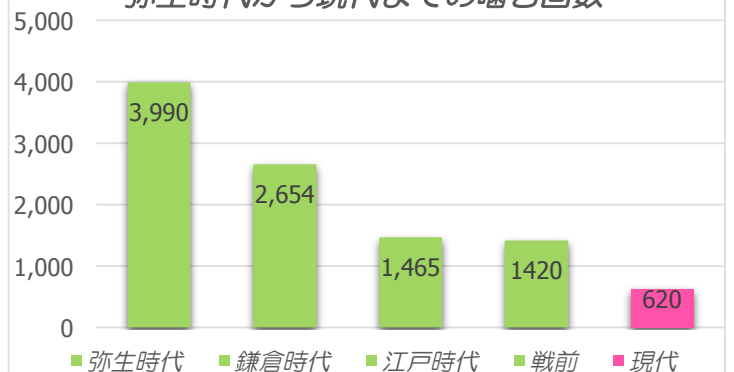
- キシリトール 100%で作られています。
- 虫歯菌の力を抑制します。

#### リカルデント

虫歯の始まりを抑制する CPP-ACP を配合。歯を丈夫で健康にします。



### 弥生時代から現代までの噛む回数



## ほっこり話

ある20代の女性患者さん。現在、歯科衛生士の専門学校に通っているその女性に、なぜ衛生士を目指したのか？尋ねたときのお話です。母が歯周病にかかり話すこともいやになるくらい気持ちが沈んでしまっていました。そんな時、予防歯科に掛かり歯周治療を受けて、症状を改善させることができました。それにより以前の元気な母に戻った姿をみて、歯科衛生士の仕事に興味をもったとのことでした。そのお母様は現在も定期的にメンテナンスを受け、お口の健康を維持されています。こんな素敵なお話を耳にすると担当している衛生士だけでなく、スタッフ全員がとてもうれしい気持ちになりました。他にも心温まるエピソードをお持ちの方がいらっしゃいましたらスタッフ、衛生士まで・・・



## 花ことば

### 向日葵

「あこがれ、熱愛、あなただけを見つめている」  
大輪の花が一点を見つめて咲くさまに情熱を感じますね・・・

